



# SCOPH

Public Health

5/25(土)~5/26(日)

五月勉強会

報告書

名古屋大学 三年 野田茉友子

6/5(水)

## 五月勉強会

日時	5月25日 10:00~26日 17:30
目的・対象	普段知識はあるが、なごぬいのみんなと共有する機会がないと思っていることをみんながそれぞれ発表する場を作る。またお互いに教え合うことで知識を深める。
参加人数	合計30名(大体どの時間も15名ずつ)
活動内容	<p><b>5月25日(土)</b></p> <p><b>9:30~10:00 アイスブレイキング</b> 担当：松井響子(補助 牧野早也香) まず自分の欠点を書いてもらう。それをみんなに長所に変えてもらう。 少しでも多くの人々の欠点を長所に変えることができれば賞品がでた。 目的：お互いのことを知ってもらう。たくさんの人と話してリラックスしてもらう。</p> <p><b>10:00~11:00 ぬいぐるみ学会</b> 担当：野田茉友子 みんなに自分の興味がある子どもに関することをA4の用紙一枚にまとめてきてもらい、小グループに分かれて発表してもらった。 目的：発表者ではない人でも少しでも参加した、発表したという意識を持ってほしかった。</p> <p><b>11:10~11:40 こどもが好きなキャラについて</b> 担当：坂本達郎 様々なアニメについて解説をしてもらった。それぞれの人物関係について図を使いわかりやすくまとめてあり、また動画も交えることでとても楽しいものとなっていた。 目的：こどもがいつも見ているであろうもののことについて少しでも知ることで、子どもとの会話のきっかけとする。また、みんなに楽しんでもらうことで第二のアイスブレイキングともなった。</p> <p><b>13:00~13:20 SCORA なごやの活動紹介</b> 担当：武藤由起 SCORA なごやは何をやっているのか、どのような目的</p>

で活動しているのかをわかりやすく説明してくれた。  
目的：この勉強会は新入生が多く、新歓という役割もあった。またたくさんの人にたくさんの活動をしてもらうという意義がある。

### 13:30~15:00 問診勉強会

担当：野村花江（名大二年生ズが力を合わせて）  
なごぬいぐるみ病院が行っている問診とはどういう風に行うのか、動画や実演を通して学んだ。具体的にはまず、なごぬいの基本的な実施の形態などについて話し、前から撮ってあったなごぬい上級生の実演ビデオを見た。その後はグループごとに軽く説明した後、実際に問診練習を行っていった。お医者さんごっこについて行った。

目的：新入生の参加が多かったため、名大祭の問診練習も兼ねていた。まだまだ問診に不慣れな一年生が少しでも慣れてもらいたいと思っている。

### 15:10~16:10 こどもとの接し方

担当：松井宇宙輝  
まずこどもがどんなことをしたら喜ぶのか、どんなことをするとこどもは嬉しいのかを講演したり、みんなで考えたりした。その後、こどもはどんなことをしたら言うことを聞いてくれるのかを例をあげて示していき、みんなで具体的な対策を考えていった。

目的：こすも先輩はなごぬい初心者なのにとても子どもに好かれていたので、その秘訣が知りたいと思いこのテーマをお頼みしました。本などを読み、発表してくれたようで、とてもためになるものばかりでした。

### 16:20~16:50 活動紹介（なごぬい&つぬびー）

担当：畑下直（なごぬい）、野村幸伸（つぬびー）  
なごぬいの方は今まで行ってきた保健教育を中心に説明し、なごぬいの良さがわかるような発表であった。つぬびーの方は good job というイベントについてお話してくださいました。

目的：一年生はまだなごぬいの過去の保健教育や他の大学のぬいぐるみ病院を知ることがないので、それをわかってもらいたいと思い、この時間を設けた。

**17:00~18:00 ぬいぐるみお悩み相談会**

担当：畑下直

なごぬいで今まで感じていたお悩みをみんなで解決していこう！という企画であったのだが、一年生が多すぎたということもあり、お悩み相談会半分、一年生の将来についてなごぬいの将来やりたいことについて半分という形で行っていった。

目的：上級生が思っていたけど、今までなかなか言えなかったようなお悩みを話せる場になることを目的に作られた。

**20:00~21:00 授業の作り方について**

担当：樫本知夏（ヘルプ 中澤汐里）

教育学部4年生の知夏先輩が先生はどのように授業を作っているのか、実際に例を示しつつ見せてくれた。知夏先輩が作った授業の様子などもあり、とても興味深かった。

目的：教育学部の先輩だからこそ話せる内容を話してもらった。

**21:00~22:30 ぬいの問診と現実の問診の違い**

担当：野村幸伸

研修医一年目であるのむさんから、ぬいの問診と現実の問診の違い、ぬいの問診のどこを変えることができれば現実の問診に近くなるのかについて話していただいた。

目的：一年生には早すぎる内容だとは思ったが、一年生の最初のうちからこのような問題についての話を聞くことで何か得られるものがあるのではないかと思い、このテーマにした。

**5月26日（日）**

**9:00~10:00 名大祭についてMTG**

担当：畑下直、牧野早也香

問診について変えていきたいこと、取り入れたいことなどを考えていった。

目的：名大祭も目前に迫る中、ここでも準備ができたかなと思い、入れた。

**10:00~12:00 保健教育の作り方について**

	<p>担当：園田なおみ、五嶋嶺、永田浩貴 みんなが保健教育についてどんな悩みを持っているのかについて集めた。その後、小グループに分かれて2テーマずつ選び、「その問題はなぜ起こるのか」「それを解決するためにはどうすればいいのか」を述べていった。 目的：保健教育についてのお悩み相談のような感じであった。個人の目標など言えることができ、とても有意義なものとなった。 <b>13:00~15:00 レク</b> 担当：社本穂俊 リアル脱出ゲーム（簡易版）を行った 目的：グループごとで仲良くなれるかなと思い、脱出ゲームを入れた。面白かったと好評だったと思う。 <b>15:30~16:00 東洋医学研究会の活動紹介</b> 担当：唐澤ゆうき 東洋医学とは何をやっているか？漢方を小児に処方するときはどうすればいいのか？について説明してもらった。 目的：たくさんの活動を知ってもらうためにおこなった。 <b>16:00~17:30 team building について</b> 担当：伊東歌菜 Team を作るためにはどのようなことをすればいいかをみんな考えていった。みんなで考える時間もあり、チームの定義についての講義もあり、有意義なものであった。 目的：なごぬいという team を考えることは最後にふさわしいものだと思います、ここに入れた。なごぬいについて考えることが出来たと思った。</p>
自由記載欄 (感想、反省など)	<p>「アンケート結果」 <u>参加したプログラムで一番楽しかったのはなんですか？</u></p> <p>アイブレ 5 ぬいぐるみ学会 5 こどもが好きなキャラについて 12 SCORA なごやの活動紹介 4</p>

<p>問診勉強会 6 こどもに好かれる方法、子供との接し方 9 活動紹介（なごぬい、つぬびー） 4 ぬいぐるみお悩み相談 3 授業の作り方について 5 NQ サブリ（保健教育について） 5 レク 3 東洋医学研究会 1 team building の勉強会 2</p> <p><u>参加したプログラムで何かいい点悪い点などありましたら記入してください。「どのプログラムに関する事か」を必ず記入して下さるようによろしくお願いします。</u></p> <p><b>問診勉強会</b> 問診の練習が実際にできたのがよかった。</p> <p><b>東医研</b> パワポはなごぬいで発表する用に作り替えておいてほしかった。</p> <p><b>お悩み相談会</b> 新入生が多かったから仕方ないと思うが、お悩み相談がやりたかった。</p> <p><b>こどもに好かれる方法</b> 個人的には子供に好かれる方法って、大人にも使えるなと思ったので、さっそく実践してみようと思う。 たくさんの新しいことが知れてよかった。みなさんの意見を聞いてたくさん考えることができた。</p> <p><b>全体について</b> どのプログラムも、内容が練られていてためになった。 ×2 基本的に、どのプログラムもテキパキと進行していたうえに内容も充実していて、とても勉強になりました。</p> <p><b>ぬいぐるみ学会</b> たくさんの新しいことが知れてよかった。また、みなさんの意見を聴いてたくさん考えることができた。 ぬいぐるみ学会でいろんな人の意見が聞けてよかった。</p>
---

	<p>テーマが自由だったので1人1人違ったことを調べていておもしろかった。</p> <p><b>NQ サプリについて</b></p> <p>悪いところを治して、改善し、さらに自分に約束を持つという流れがよかった。</p> <p><b>ぬい問診と現実問診</b></p> <p>ぬいで問診をやる理由の原点に触れた気がして大変勉強になった。</p> <p><u>運営に関してよかった点、悪い点など何かありましたら、教えてくださいと嬉しいです。</u></p> <p><b>良い点</b></p> <p>設営の時に机の配置がパワポで前に出ており、分かりやすかった。</p> <p>スムーズだった。×2</p> <p>上級生と下級生の人数バランスがちょうどよかった。</p> <p>たのしかった。</p> <p>ためになった。</p> <p>参加者の途中入退場が自由だった。</p> <p>運営の人はずっといて、仕事をしていた。</p> <p>時間設定がきちんとしていた。</p> <p>初めての参加であったが、とてもやさしくて親しみやすく楽しかった。</p> <p>あらかじめきちんと小グループに分けられていたので話しやすく、効率よくまわっていたと思った。</p> <p><b>悪い点</b></p> <p>受付はいつも動けるようにしてた方がよかった。受付がグループワークのリーダーをしていて声をかけづらかったので、途中から来てくれた子の対応どうすればいいかわからない時があった。</p> <p>参加費がちょっと高い。会場が無料なら、1日500円くらいが妥当だと思った。</p> <p>時間が押したり早まったりの差が大きかったため、それを調整するプチプログラムが用意してあるとよかった。</p> <p>一人の人に負担がかかりすぎている。</p>
--	---

	<p>「感想」</p> <p>全ての発表者が事前にかかなりの準備をしてきてくれ、とてもいい発表だったからこそなすとげられた勉強会だと思いました。名古屋の人たちの持っているものの多さ、意見の多さには驚かされました。</p> <p>個人的な反省としてはやはりタイムスケジュールを詰めすぎたこと。2日目もとてもいいプログラムばかりだったのに参加者の疲れ、運営側の疲れによりだらだらとしてしまったと思います。きちんと用意して下さった発表者の方に申し訳なかつたです。</p> <p>運営についてはめぼしい人たちはみんな忙しかつたし、あまりやることも多くなかつたので一人でやつたのは正解だと思っています。受付を常に置くことに関しては小さい勉強会であるという都合上、不可能でした。</p> <p>本当に発表者さん、全ての参加者さんのおかげでとてもためになり雰囲気の良い勉強会に出来たのではないのでしょうか。全ての関わつて下さつた方に感謝をしたいと思っています。</p>
スタッフ	<p>活動責任者： 野田茉友子</p> <p>発表者：松井響子、牧野早也香、坂本達郎、武藤由起、野村花江、松井宇宙輝、畑下直、野村幸伸、樫本知夏、園田なおみ、五嶋嶺、永田浩貴、社本穂俊、唐澤ゆうき、伊東歌菜</p>

写真